



杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会
2019年 12月 1日発行

12月号 向日市上植野町西小路3-4
No. 105 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

桜を見る会問題

国家の私物化は許さない



向日市議会議員 杉谷伸夫 所属政党なし
上植野町イトーピア在住。大阪市生まれ。京都大学工学部卒業。GSユアサ(旧日本電池)勤務を経て、2011年より向日市議会議員3期目。65才

「桜を見る会」問題では、安倍首相が自らの支持固めのために、国の公式行事を私物化していたことがわかりました。今回も安倍首相は「不都合なものはすべて隠す」という常套手段に出ています。データを隠し、平気でウソを言う。そして国会では与党議員が安倍首相を守るため、真相究明を妨害しています。

もううんざりですが、それで済まされません。安倍首相のために、公正公平であるべき国の行政がゆがめられ、政権に群がる一部の者たちが優遇され、利益を得てきた構造の象徴が、桜を見る会問題です。森友学園国有地たたき売り事件、加計学園「腹心の友」便宜供与事件など露骨な利益誘導と、公文書・データの改ざん・破棄を進んで行う村度政治の育成。安倍首相が行ってきた国家私物化、民主主義破壊をこれ以上許すわけにはゆきません。(11月29日・杉谷 伸夫)

温暖化防止へ個人が自覚もち行動を

地球温暖化を含む環境汚染の問題は近々の課題だと考えます。何としても食い止めねばなりません。全責任は私達人間にあります。人間は、この地球上で唯一の知的生物だと自負していますが、私達人間だけでこの惑星に暮らしていけるわけがありません。私達はもう一度足を止め、何が一番大切なのかを考え直す必要があるのではないのでしょうか。

政府や国連の温暖化防止対策もとても重要ですが、まず個人が自覚を持って行動する必要があります。電気・ガスなどの資源を無駄にしない、自家用車やバイクも使用するのを控えて、その代わりに徒歩や自転車を利用する。

私達がほどこをわきまえて行動すれば、自然とともに暮らしていけます。(上植野町 T・U)

12月の催し等のご案内

- 12月5日(木)夕方(見込み)
向日市議会・杉谷議員の一般質問
(質問内容のポイントは3面に掲載)
- 12月14日(土) 寺戸公民館
「市民参加でまちをつくる会」
桜並木の景観・開発事業の現状等
その他、議会、まちの話題など意見交流

向日市議会・定例会の主な日程

- 12/5, 6, 9 本会議(一般質問)
- 12/11, 12, 13 各常任委員会
- 12/18(水) 本会議(最終日・採決)



連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>

中学卒業まで医療費を無償に！

市民団体が議会に請願

向日市議会に「子どもの医療費を中学校卒業まで無料にすること」を求める請願が出されました。

現在向日市では、子どもの医療費負担は、小学校卒業までは入院・通院ともほぼ無料（1医療機関当たり月200円）ですが、中学生については、通院は1ヶ月複数医療機関の合算で1,500円の負担となっています。しかも窓口でいったん全額を支払った後で、市役所に申請すれば1,500円を超える分が支給されるようになっていきます。

京都府内の大半の市町村は、入院・通院とも中学卒業まで完全無料か、ほぼ無料にしており、向日市は大山崎町とともに、京都市・福知山市に次いで京都府内で最低水準です。府内には、高校卒業まで無償の市町もあります。

無償化は可能

実は長岡京市も、最近まで向日市と同じでしたが、京都府の助成制度が拡充されたので、その財源を活用して今年9月から府内他市並みに中学卒業まで無償（月200円）に踏み切りました。京都府の助成拡大の財源を使えば、向日市も同様にできたのに、向日市はその財源を子どもの医療費無償化に使わず、一部を病児病後児保育事業に回しただけでした。

少子化対策が叫ばれ、「子育て支援」は今や国でも自治体でも最優先課題です。子育て支援に力

を入れる明石市では、国に先駆けて保育無償化を実施したのに続き、来年度からは中学校給食の無償化や、1歳未満の子どもの見守りを兼ねた「おむつの無償宅配」を行う方針です。明石市ほどなくても、多くの市町村が子育て支援に力を入れている中で、「向日市に住んでがっかりした」と子育て世帯に言われたいよう、せめて中学卒業ま



での医療費無償化は直ちに実施すべきではないでしょうか。京都府からの助成拡大があるので

国に助成制度が無いのが根本問題

自治体がそれぞれ独自に子どもの医療費助成をしていますが、国には助成制度がないので財源は自治体の負担となり、自治体の財政力の差で格差が生まれています。本来は、国の制度として実施することが必要です。

子どもの医療費無償化は私の公約

私は、この夏の市議選の公約で「子どもの医療費無償化」を掲げました。その実現に全力を尽くしたいと思います。（杉谷）

救護施設問題は今どうなってる？

●京都市は、開所は2年延期と説明

京都市は、11月13日の京都市会・教育福祉委員会で、救護施設の開所にあわせて当初来年3月に廃止予定であった中央保護所の運営を、2年間延長するとの説明をおこないました。その理由は、救護施設の開設が、当初計画の2020年度から、「早くても2022年度になる」ためです。あわせて救護施設の建設をめぐる状況の説明を行いました。

新聞報道を見て、2022年からの救護施設の開所が決まったとの誤解があるようですが、そうではなく、当初の開所予定より少なくとも2年遅れることということで、開所時期が決まったわけではありません。

●公開の場での市民への説明を！

今後については、「伏見区・向日市それぞれの地域まちづくり協議会で一定の理解が得られれば、小さなコミュニティ単位での説明会の実施や、みなと寮が運営する千里寮の見学会の実施などを考えている」旨の説明でした。しかし、一部の議員や区長でつくる地域まちづくり協議会への説明だけでなく、市民誰もが参加できる場での説明が必要です。このことは、京都市に伝えました。

※5向小校区の保護者・住民らでつくる「みなと寮建設を考える向日市民協議会」が、12月7日に、現在の状況に関する説明会を行うようです。

杉谷伸夫の

活 動 報 告

議会一般質問予定

杉谷伸夫議員・一般質問の予定
12月5日(木) 夕方(見込み)

西向日の桜並木の景観保全

向日市の意味と手立ては？ 景観条例と景観計画の予定は？

西向日の桜並木は、地域の落ち着いた家並みと相まって、向日市が誇るべき素晴らしい景観の1つです。この地区の景観を最も特徴付けるものが、ソメイヨシノの桜並木です。西向日地区では、まちづくりの理念として「桜並木のまち憲章」を制定し、昨年2月には「西向日・桜の径と住宅地景観」が京都府景観資産に登録されました。

しかし最近桜の樹が次々伐採され、桜並木の景観が果たして守れるのか地域住民に不安が広がっています。市は、西向日の桜並木の景観を守るの意思とその手立てはあるのでしょうか？

実効性を持たせるためには、景観条例の制定と、それに基づく景観計画が必要ではないのでしょうか。



12月議会へ市民の請願

●市民から提出された請願・陳情

市民のみなさんから3つの請願が出されました。私はすべて賛成したいと思います。

- 私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願
- 中学生の医療費の無償化を求める請願
- 保育所のよりよい環境づくりを求める請願

本会議で市長報告を！

向日市の重要な事業報告は、 公開の本会議で行うべきでは？

私は以前より、向日市の重要な事業の報告を議会で行うよう市長に求めていましたが、ようやく今議会で行われることになりました。しかし残念なことに市長が報告した場合は、市民に非公開の「議員全員協議会」でした。ぜひ、市民の皆さんがネットでも自由に聞ける本会議の場で、市民に大切な事業の報告を行うよう、改めて求めます。

★本会議と常任委員会の模様は、向日市議会のホームページからYoutubeでのインターネット中継・録画配信を見ることができます。

生活保護行政

改革へ、市長の姿勢が重要

今年6月に、向日市の生活保護ケースワーカーが関係した事件に関して刑事裁判が進行中ですが、若いケースワーカーを守れなかった向日市の生活保護行政の改革を進めてほしい。

- ①事件の徹底した検証を行い、向日市の生活保護行政が変わることを示すこと。そのためには市長の姿勢が重要です。
- ②生活保護に関わる職員の専門性を高めること。研修の機会を保障すること。
- ③職場内での情報連携と組織的対応の強化へ、全組織の総点検をおこなうこと
- ④利用者市民の立場にたった運用へ改善を
 - ・女性のケースワーカーを増やす
 - ・市民へわかりやすい情報提供、情報発信を
- ⑤不当要求に対する条例や対処マニュアルを作ること



寛大な判決を求める署名・ご協力のお礼

京都地裁に対し、若手ケースワーカーへの寛大な判決を求める署名を、多くの方から届けて頂きました。12月19日に裁判所に提出されます(最終締め切りは年末までです)。

西向日と桜並木

安野 洋子

西向日の桜並木が、昨年「京都府景観資産」に登録された。西向日で生まれ育って80年余り、この地で生きている私は、とてもうれしく思う。西向日区は町名としては無く、上植野町南開・浄徳・円山・鶏冠井町稲葉に広がっている5百戸余り、人口1300人くらいの地域である。

向日市になるまで、向日町は乙訓郡の中心であった。向日町の向陽小学校に乙訓郡すべての小学校が集って連合運動会をしていたものだ。西は大原野、東は久世など、みな今は京都市になった小学校が集合して、小学校毎の競争だったが、高学年にとっては楽しい行事だった。

向日町は、織田信長時代、門前町として西国街道に面し、信長の妻・濃姫の父親・斎藤道三が山崎から油を売りにこの道を歩いていたという。歴史の古い向日町なので、向日町市にするようにという意見もあったのに、九州日向市の反対のような向日市になったのだ。初めの頃、間違っって郵便が日向市に行った事実もあったそうだ。



784年から十年存在した桓武天皇の長岡京は、隣の長岡京市におかぶを取られたたが、遅ればせながら向日市も「観光」で売り出そうとしているようだ。西ノ岡の「竹の径」と共に貴重な「西向日の桜並木」なのに、家の建て替えと共に無残に桜が切られるのは、とても寂しく腹立たしい。街路樹である桜の伐採は、地域の桜並木を保存する会と相談することに決められているのに、市は簡単に施工業者に許可を与えてしまう。市の職員ならもっと厚い心遣いが必要ではないか。都市計画、まちづくり、道路整備、公園交通とたくさんの課が関わっているのに、本当に桜を守ることに愛着があるのかと思ってしまう。最高責任者の安田市長にも物申したいものだ。開発を進めるのもよいが、歴史のあるものも大切にしてほしいと、生まれ育った地を愛する者として切に願っている。

11/16-17 向日市まつり

「沖縄・辺野古の海」写真展 (沖縄写真展は、今年で5年目)

11月16-17日、向日町競輪場で開催された向日市まつり会場で、恒例の写真展をしました。今年のテーマは「沖縄・辺野古の海」。沖縄の写真家・牧志治さんが辺野古・大浦湾に潜って撮影されたサンゴや魚、海鳥などの美しい写真を展示させ



ていただきました。

辺野古・大浦湾の一带の海は、この10月に米環境NGOが選ぶ世界で最も重要な海域「ホープスポット」に、日本で始めて認定されました。この海域は、ジュゴンなど絶滅危惧種262種を含む5千種以上の生物が生息する多様性に富んだ場所です。政府はこのような海を埋め立てて基地建設を進めようとしているのです。



ジュゴンのぬり絵をかいいて辺野古の海の背景画に貼りました